

本時のねらい

- ・より良いプレゼンテーションをめざして友だちとアドバイスをし合い、資料の提示や話し方について改善点を見つける。
- ・自分たちで考えた本市の課題と解決策を市役所の方に分かりやすく伝えるために資料を作成し、プレゼンテーションを完成させる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・プレゼン資料作成ソフト（Keynote）で作成した提案資料を提示しながら発表の練習をし、その様子をペアの班が動画を撮影することで、動画を確認しながらアドバイスの内容を考えることができる。
- ・各班が気付いたことを記入する観点別の「発表工夫シート」を学習支援ソフト（ロイロノート）の共有機能を活用することで、ペア班からの評価をリアルタイムで共有できることをねらった。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・プレゼン資料作成ソフト（Keynote）
- ・文章作成ソフト（Pages）
- ・学習支援ソフト（ロイロノート）
- ・カメラ機能

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認し、学習の見通しを持つ。 「より良いプレゼンテーションをめざして、友だちとアドバイスをし合い、プレゼンテーションを完成させよう」 ○本時の流れを確認する。 ○プレゼンテーションで気をつけることを確認する。【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習の流れが見返せるように、児童のタブレットに「プレゼンテーションの技（発表工夫シート）」を配付する。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ペア班でプレゼンテーションの練習をする。【写真2】 ・「プレゼンテーションの技（発表工夫シート）」を再確認して、自分たちが意識することを明確にする。 ・目的意識を持った交流の大切について考える。 ○動画や提示資料を見返しながら、アドバイスをし合い、提示資料のタイミングや話し方の改善点を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○練習の様子を動画で撮影し合う。 ○ペアの班が文章作成ソフト（Pages）でまとめている「プレゼンテーションの技（発表工夫シート）」をもとに評価し、「より伝わるプレゼンテーション」を作成するためのアドバイスをを行う。 ○発表した班は、動画を見ながら、「プレゼンテーションの技（発表の工夫シート）」で目標を達成できているか自己評価を行う。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめをノートに書く。 ※伝わるプレゼンテーションにするためにはどうすれば良いのかについてまとめる。 ○振り返りをする。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートに書いたまとめと振り返りを学習支援ソフト（ロイロノート）で共有し、次の学習に向けて意識を高められるようにする。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：プレゼン資料作成ソフト（Keynote）で作成したプレゼン資料。

写真2：ペア班でプレゼンテーションの練習をしている場面。

写真3：まとめ・振り返りの記入後、ペア班で共有している場面。

児童生徒の反応や変容

- ・動画を撮影することで、自分たちの発表の様子を確認し、客観的に見ることができ、改善点を明確にすることができた。また、ペア班と交流することで伝える相手が明確になり、より伝わりやすいプレゼンを作成しようという「相手意識」を持つようになった。
- ・ペア班でアドバイスすることで、それぞれの班がストロングポイントとウィークポイントを再確認でき、資料作成と発表方法のブラッシュアップに活かす姿勢が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・プレゼン資料を共同編集させて作成したことで、グループ内で役割分担しながら効率的に作業を行うことができた。また、自分の役割に責任を持って活動に取り組む様子が見られた。
- ・伝える相手を明確にすることで、より伝わるための工夫について考え、それを子どもたちがプレゼン資料の作成と発表方法に活かす様子が見られた。